

「農商工連携セミナー」

～経営資源の融合による新たな付加価値創出～

講師：東北経済産業局 産業部 中小企業課 新事業促進室長 藤井 春美氏
 有限会社パレット 代表取締役 高橋 寛氏

当財団は、平成22年2月19日（金）七十七銀行本店5階会議室において特定テーマセミナー「農商工連携セミナー」～経営資源の融合による新たな付加価値創出～を開催いたしました。

当日は約60名の中小企業経営者等の皆様にご参加いただき、「農商工連携」の概要・活用方法、具体的事例の紹介などについての講義並びに個別相談会を実施しました。

本特集では、講師にお招きした東北経済産業局 産業部 中小企業課 新事業促進室長 藤井 春美氏、有限会社パレット 代表取締役 高橋 寛氏による講演内容の概略を紹介いたします。

◆講演◆「農商工連携の概要と活用方法」

講師：東北経済産業局 産業部 中小企業課 新事業促進室長 藤井 春美氏

《農商工連携とは》

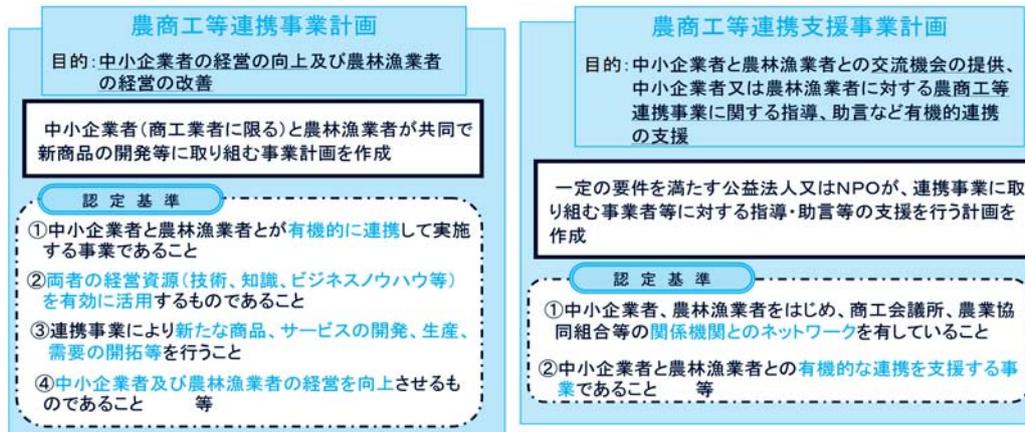
「農商工連携」とは、農林漁業者と商工業者等が通常の商取引関係を越えて協力し、お互いの強みを活かして売れる新商品・新サービスの開発や生産等を行い、需要の開拓を行うこと。平成20年7月に「農商工等連携促進法」が施行され、「農商工連携」に取り組もうとする方々の事業計画を国が認定し、認定された計画に基づいて事業を実施する方々を各種支援策でサポート。



藤井 春美氏

●「農商工等連携促進法」の概要

主務大臣(農林水産大臣・経済産業大臣等)が農商工等連携事業・支援事業の認定基準等を策定



●「農商工等連携事業」の基本的要件

- 有機的連携…………… 中小企業者と農林漁業者が有機的に連携して実施する事業であること
- 経営資源…………… それぞれの経営資源を有効に活用すること
- 新商品の開発等…………… 新商品若しくは新役務の開発、生産・提供又は需要の開拓を行うものであること
- 計画期間…………… 原則5年以内
- 経営の向上・改善…………… 中小企業の経営の向上かつ農林漁業者の農林漁業経営の改善が実現すること

《農商工連携の支援内容》

●事業化の段階に応じた多様な予算措置

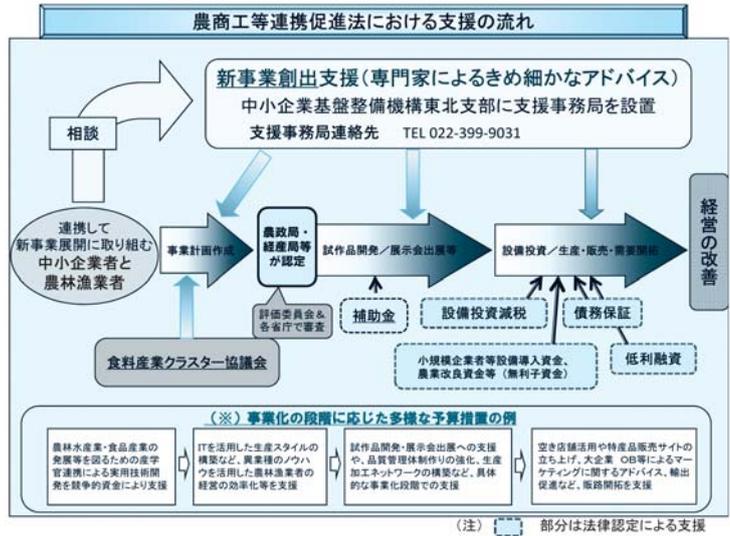
- ・地域の幅広い食品産業、農林水産業等の連携を通じた新商品開発や販路拡大
- ・地産地消の新たなモデルの構築
- ・産学官連携による実用技術の開発 等

●農商工等連携促進法による支援措置

(農林漁業者と中小企業者が連携して行う新商品や新サービスの開発・販路拡大等の取組みについての支援)

- 補助金等
- ・連携体構築に資する規約の作成、コンサルタント等にかかる経費を補助

- ・連携体が行う新商品開発（製品・サービス）に係る試作、実験、研究会等にかかる経費を補助
- 融資等
 - ・政府系金融機関による融資制度（日本政策金融公庫等）
 - ・小規模企業者等設備導入資金助成法の特例（無利子貸付上限6,000万円、同貸付割合2/3）
 - ・農業改良資金助成法、林業・木材産業改善資金助成法、沿岸漁業改善資金助成法の特例
- 信用保証等
 - ・中小企業信用保険法の特例（普通保証等の別枠設定、新事業開拓保証の限度枠拡大等）
 - ・食品流通構造改善促進法の特例（食品流通構造改善促進機構による債務保証等）
- 設備投資減税 等



《農工商等連携事業計画の認定状況》

●農工商等連携事業計画認定状況

- ・農工商等連携事業計画 全国 337件
- ・農工商等連携事業計画 東北 36件

(平成22年2月10日現在)

●認定事業の類型

- ・規格外品や低未利用品の有効活用
- ・生産履歴の明確化や減農薬栽培等による付加価値向上
- ・新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大
- ・新規用途開拓による地域農林水産物の需要拡大、ブランド向上
- ・ITなどの新技術を活用した生産や販売の実現
- ・観光とのタイアップによる販路の拡大
- ・海外への輸出による販路の拡大

【宮城県の認定状況（6件）】

< 栗原市 >

- (有)パレット ◆(株)愛宕産土農場
- (株)ダイチ ◆関村清幸

< 仙台市 >

- 奥田建設(株) ◆加美町わさび生産組合
- (株)プロジェクト・エム ◆佐藤公一
- ★「いわいの里」ふるさとづくり研究会、(株)精茶百年本舗

< 大崎市 >

- (株)グリーンマン ◆宮城県漁業共同組合 成瀬支所
- (株)貝茶舗 ◆佐藤正弘
- ★(有)菓子工房すわや

- 中小企業者
- ◆農林漁業者
- ★連携参加者

認定事業計画の例



◆講演◆「農商工連携を活用した事業展開」

～“栗原特選ずんだ”の製品開発と販路拡大事業～

講師：有限会社パレット 代表取締役 高橋 寛氏

《事業化の経緯》

○自社の将来への展望・栗原の特性

約4年前に経営理念の成文化を図り、当初抱いていた「地元農業に貢献したい」「いい地域環境を作りたい」という思いから、宮城の食文化である「ずんだ」に着目。宮城県の産品としての「ずんだ」の持つ歴史的背景・風土を味方に、菓子・料理用原材料とする製品の開発を行う。

○低温・真空調理加工技術との出会い

低温・真空調理加工技術により、「ずんだ」の色鮮やかな緑色、芳香な香り、採れたて新鮮な風味を常温で長期保存することが可能。

○株式会社愛宕産土農場との連携

高品質で付加価値の高い商品を量産するため地元農家の株式会社愛宕産土農場が「ずんだ」の材料に適した枝豆の品種選定・作付調整を行い、一次加工を担う目処が立ったことから連携に至る。

●事業概要

○事業名…ゆでたての色と香りと食感を最大限生かした「栗原特選ずんだ」の製品開発と販路拡大事業

○連携体…【中小企業者】有限会社パレット（菓子小売業）

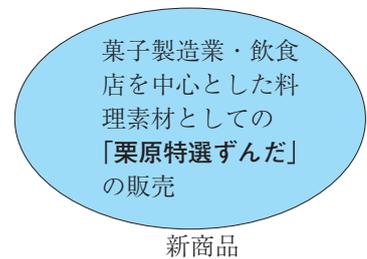
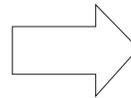
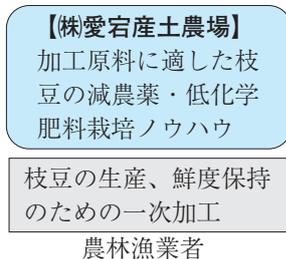
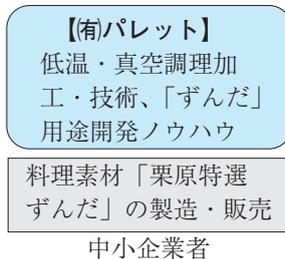
【農林漁業者】株式会社愛宕産土農場（農業）

【サポート機関等】宮城県商工会連合会、栗原南部商工会、地域活性化支援事務局

○事業内容…有限会社パレットは、低温・真空調理加工等により、食味、栄養、保存性に優れた「ずんだ」を菓子・料理素材として製造するほか、新たな用途開発を行う。株式会社愛宕産土農場が減農薬・低化学肥料により「生産者の顔が見える」安心・安全な枝豆を生産し、収穫直後新鮮な状態のままで一次加工を行う。「ずんだ」は、菓子・料理素材として注目されており、他商品との差別化により「栗原特選」としてブランド化を図る。



高橋 寛氏



《新商品の特徴》

●7つのこだわり

○地元の豆を厳選

・色や香りなど「ずんだ」に最適な枝豆の品種を選定・使用

○身体に優しい豆

・契約農場との連携による減農薬で身体に優しい枝豆を栽培

○採れたてを加工

・朝摘み採れたての美味しい枝豆をそのままにゆであげ、新鮮加工

○新鮮急速凍結保存

・ゆでたての枝豆を新鮮なまま急速冷凍保存で美味しさや風味をまるごと閉じ込めている

○最新の調理加工で色香り成分がそのまま

・独自の最新の真空低温調理技術による加工で加工後も栄養価や鮮やかな色、香りを損なわない

○利用・用途に合わせた納品

・注文生産によるつくりたての提供や、常温長期保存可能な商品まで希望に合わせた商品提供が可能

○添加物保存料不使用

・厳選した地元の豆、添加物・保存料不使用による安心安全な商品



株式会社愛宕産土農場

●生産から加工・販売までの流れ



《農商工連携を活かして》

●地域農業者との関わり

- ・農業者との意識の共有（事業の方向性、価格の問題、衛生、加工、設備投資等）
- ・商工会・商工会連合会（地域力連携拠点事業）等のバックアップ
- ・事業成就への熱意

●連携事業認定後の捉え方

○認定後のメリット

- ・プレスリリース等広告宣伝効果（パブリシティ等）
- ・公的機関とのつながりや企業としての社会との関わりに変化
- ・社員の自社に対する誇り、プライド
- ・補助金等の直接的支援・金融機関
- ・先進性＝ハイリスクを応援
- ・食育への貢献（農薬不使用・地場産品使用）

○認定後のデメリット（課題・問題点）

- ・各種書類作成
- ・視察研修時等の接客応対
- ・総事業費の増大
- ・事業パートナー（農業者）への責任の自覚
- ・新規事業のハイリスクと営業展開の困難さ



ベーカリーハウス パレット築館店

●新たな事業化に向けての取組み・ビジョン

- ・より大規模な設備投資を行い、生産能力をアップさせ地元農家と連携しながら、栗原地域の「ずんだ」加工産業としての育成を行い、全国に向けて販売を実施。
- ・地元素材「ずんだ」を日本に止まらず、アジア・北米・欧州等へ食材としての輸出展開を通じて世界へ発信。（既にドバイの展示会へ出展）
- ・枝豆以外の栗原の地場産品（かぼちゃ、トマト、いちご、ブルーベリー、りんごなど）を用いた商品開発を行い、地元素材をテーマに農家と連携し、地元栗原・宮城県の活性化の一役を担う。

【農商工等連携などの相談窓口】

- 東北経済産業局
中小企業課 新事業促進室
TEL：022-221-4923 FAX：022-215-9463
- 東北農政局
生産経営流通部 食品課
TEL：022-221-6146 FAX：022-217-4180
- 東北地域活性化支援事務局
【(独)中小企業基盤整備機構東北支部】
TEL：022-399-9031 FAX：022-399-9032

【有限会社パレット】

宮城の食文化である「ずんだ」を菓子・料理用原材料とする製品を開発する等幅広く事業を展開。農商工連携事業名は「ゆでたての色と食感を最大限生かした“栗原特選ずんだ”の製品開発と販路拡大事業」（平成21年2月認定）。

<企業概要>

- 住 所：宮城県栗原市築館伊豆4-7-15
- 設 立：昭和61年
- 業 種：パン・菓子製造小売業
- 資本金：10百万円
- 従業員数：54名

【農商工連携にかかる最新の情報】

- (独)中小企業基盤整備機構・地域活性化支援事務局について
<http://www.smrj.go.jp/noshoko/index.html>
- 農商工連携に関する情報全般について
<http://j-net21.smrj.go.jp/expand/noshoko/index.html>
- 関連法令・計画申請書の様式等について
<http://j-net21.smrj.go.jp/expand/noshoko/law/index.html>